

行事予定表		
9	火	ピヨピヨひろば
11	木	カレーの日
13	土	保育参観・保護者会総会
16	火	食育教室/交通安全教室 13:30~(5歳児のみ)
17	水	おべんとうデー
18	木	サロン
22	月	尿提出日
24	水	誕生会
25	木	歯科検診(10:00~)
26	金	避難訓練
29	月	リトミック(2歳児以上)
30	火	巡回相談

入園式後、四日目ののに、お花見遠足に出掛けた。子ども達から「ワーきれい！」と歓声。舞う花びらに舞う子ども達、芝生に駆け、遊んだ。帰路、私はとても疲れたが、子ども達は疲れも見せず走ったり唄ったり、動植物を観察したりあげくに休耕田に突入、おたまじゃくしを追った。桜の花が舞い散ると、一斉に木々は柔らかな緑をつけ花々が咲き乱れる。田に水が引かれ田植えが始まる。ひばりが天高く鳴き、キジがカン高く鳴く。新しい命が生まれているのだ。五月、生命が躍動する季節、子どもの季節。



新緑の風に舞い、たいようぐみ・そらぐみの鯉のぼりがホール前のテラスに元氣よく泳いでいます。また、ピオトープの周りには、オタマジャクシやメダカの泳ぐ姿を毎日覗き込む子ども達の姿も見られます。今月も、自然に触れながら思いっきり遊びたいと思います。

じゃがいもを植えたよー

★先月、お借りしている近隣の畑に、ぞうぐろプ(5歳児)がじゃがいもの種植えに行きました。まずはシャベルで畑の土を掘り、種芋を大事にその穴に置き、優しく土をかきました。「はやく、おおきくなーれ！」

今月の予定の中がう...

●カレーの日(11日)
・今年度初めてのカレーの日です。前日に、ほしぐみがじゃがいも、人参などを洗います。今回は、5歳児が野菜を切り、4歳児はそれを見て次回へと繋げていきます。そして、だいぢぐみはフルーチェ作りに初挑戦します。

4,5歳児はエプロン・三角巾の用意をお忘れなく!!

●保育参観&保護者会総会(13日)

・お忙しいとは思いますが、是非ご参加ください。詳細につきましては、先日のお知らせをご確認ください。

●交通安全教室(16日) 13時半

・今月も5歳児のみの参加となります。交通ルールは大人が見本となり子ども達に伝えていきます。道路を渡る時は「みぎ・ひだり・みぎ」ですね!

●おべんとうデー(17日)

・これからは暖かい日が増えてきます。お弁当の中には要冷蔵のもの(ゼリー・プリン等)はお控えください。また、朝の慌ただしい時

間のお弁当作りは大変だと思えますが、子ども達の大好きなお弁当!どうぞ宜しくお願い致します。

●誕生会(24日)

・誕生会は子ども達にとつて1年に1度の大切な日! みんなでお祝いをする気持ちを大切にしていきたいと思えます。



●歯科検診(25日)

・全員の方に歯科受診をお願い致します。なお、当日欠席の場合でも、検診時間内の受診を出来る限りお願い致します。また、受診できない場合は、ご家庭にて、かかりつけの医院で受診して頂く事になります。詳しくは5月の「保健だより」をお読みください。

●巡回相談(30日)

・お子さんの成長で気になる事やご相談がありましたらどうぞお気軽にお声かけください。勿論、園へも気兼ねなくご相談ください。

●尿検査キット配布(18日)回収日(22日)

・詳しい内容は後日配布される「保健だより」をご確認ください。

★お知らせ

★今年の夏祭りは8/19(土)に決定致しました。保護者会役員の方々と企画をしていきますが、お手伝いをして頂ける方を募集中です。

★年間予定表の1/16(火)の餅つきは1/19(金)に変更となります。

母語と英語

小学校でも3年生から英語の授業が始まり、5・6年生では、国語・算数と同様の「教科」になるといいます。幼稚園でも英語を教えることを売り物にしているところが出てきて、親が殺到(子どもではない)している。余裕のある家庭では、

幼児期から英語教室に通わせ、中高生になると夏休みに語学留学させたりしている。大学の英語化は、既に進んでいて、東大・京大・早慶は英語だけのコースがあるという。英語教育熱は高まっている。しかし、幼稚園では、外人講師を雇っているが、一向に効果はない、という話を耳にする。週一回程度、あるいは月二〜三回外国人講師による英語指導では、単発的で身につかないのである。ただ、外国人講師というパフォーマンズだけに支那とか第三国と言って挑発しながら、尊大な態度で訳の分からぬ横文字を連発していた知事がいた。英語はできた方がいいが、できればそれでもいいというものでもない。言語はその国の共通のコミュニケーションの手段であり、知である。人は物を考え、想像し、創り出す時に母語で行う。ノーベル賞受賞者が、「私は外国語は一切できません」と、胸を張って日本語で通していたことがあった。▼創造性やひらめきは深い思考から出てくる。その思考は母語で行う。そして、それを論理的に表現するのは、やはり母語である。英語を重視するあまりに、母語を殺しては、知を喪失することになる。やはり、母語を大切にしたい。幼児期は、まず母語をしっかりと身に付けたうえで、生活(遊び)の中で、自然に英語にふれ、身に付けていくことが大切である。そこで、是非絵本を沢山読んで、いっぱいお話をすることを勧めます。そして次に、...英語に触れる機会を無理なく、自然にできるようにしたい。

理事長 浅田 精利

